

## ロコモコ (LOCO MOGO)

ご飯の上に ハンバーグと 目玉焼きを載せ、グレービーソースをかけた料理で、ハワイではとてもポピュラーなメニューです。日系人によって作られたとも言われるロコモコは、現在さまざまにアレンジされていますが、日本的な丼によそったご飯（アジア）に、ハンバーグ、グレービーソース（西洋）などを盛りつける形式のものもあり（トランク教材のロコモコレプリカ参照）、多様な文化が融合した料理ともいえるでしょう。

ハワイ島のヒロには、ロコモコで有名な「CAFE100」という店があります（トランク教材のロコモコTシャツ参照）。この店の名前は、創業者が二世部隊<sup>i</sup>、第100大隊に所属していたことにちなんでおり、レジのすぐ近くには創業者の軍服姿の写真がかざってあります。

ハワイ中どこでも食べられる気軽な料理、ロコモコからも、日系人の歴史を垣間見ることができます。



「CAFE100」に飾ってある、創業者の写真（写真提供：多文化社会米国理解教育研究会）

### 問いの例

- ・美味しそうなロコモコ、ごはんの上に何がかかっているかな。
- ・どうしてロコモコのお店、「CAFE100」の店頭に軍服姿の男の人の写真が飾ってあるのかな。

参考資料 ・全米日系人博物館『日系アメリカ人の歴史』（2001）

・島田法子『戦争と移民の社会史—ハワイ日系アメリカ人の太平洋戦争—』現代史料出版（2004）

<sup>i</sup> 1941年12月7日（日本時間8日）のハワイ真珠湾攻撃にはじまった第二次世界大戦期は、アメリカに移住していた日本人とその家族にとって、「敵性外国人」とみなされる大変辛い時期でした。そのような状況の中、日系二世の中にはアメリカへの忠誠を示すため、自らアメリカ軍に志願するものもいました。合計約1万人のハワイ二世がアメリカ陸軍第100大隊（二世部隊）所属の兵士となり、やがて彼らを中心に本土の二世兵士が加わって第442連隊戦闘部隊が編成されました。この442連隊戦闘部隊は多くの死傷者を出しながらイタリア戦線を戦い抜き、日系人に対するアメリカ社会の認識を変え、また帰還した後は戦後日系人コミュニティ再建の原動力となりました。